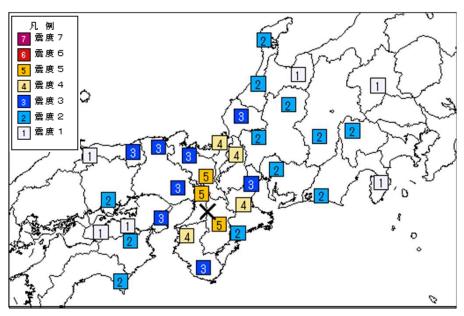
河内大和地震



震度分布図

河内大和強震概報(中央気象台:昭和11年2月25日刊)による実地調査報告(和達春夫、竹花峰夫)による概要

大阪府と奈良県の県境で発生し山裾、平野部の所々で強く揺れた。 地震の強度は平地と山地で異なり、比較は難しいが平地の方が揺れやすい。従って山地では土塀、蔵の破壊が多く、平野では弱い 家屋の損傷が多い。前年の7月11日に静岡で起きた地震とよく似ているが、今回の地震の方が山地が広いため揺れが小さくなった。 揺れは強かったが今回の地震は所謂大地震ではなく、建付けが悪い建物が被害を受けた。 ■地震の諸元(気象庁カタログによる) 発生年月日 昭和11(1936)年2月21日 震央 奈良県 マグニチュード 6.4

深さ 18km

北緯 34度31分 東経 135度41分

■被害(大阪府での被害)

死者 8人負傷者 52人家屋全壊 4棟

山地に小さながけ崩れ 大阪府地域防災計画による **全体**※ 死者 9人 負傷者 59人 家屋全壊 不明

日本被害地震総覧・河 内大和強震概報による



写真は河内大和強震概報 中央気象台 昭和11年2月25日刊



柏原町小川沿いの土蔵の破損